

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズを的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

「市民活動団体スタッフ養成講座」から学ぼう！

平成18年11月3日～19日に、当センターで開催した「市民活動団体スタッフ養成講座～NPO・NGOスタッフトレーニング～」について、皆さんへご報告します。

今回の特集の「市民活動団体スタッフ養成講座～NPO・NGOスタッフトレーニング～」は、NPO・NGOの活動に関わっている、もしくは関わろうとしている市民の方々を対象に、各々が市民活動についての知識や実践的スキルを身につけ、新たな社会づくりに活かしていくことを目的に平成14年から毎年開催している研修講座です。

本年度は、平成18年11月3日(祝)～11月19日(日)までの全5日間・参加者11名で、当センター研修コーナーにて開催しました。

NPOやNGOに関わるスタッフに必要な知識や技術の一端を、受講する機会の無かった皆さんに理解して頂きたいと思い、講座の内容をちょっとだけご紹介いたします。

講座1日目 11月3日(金)

講義内容:「NPO・NGOをよく知ろう！」

ファシリテーター

・菊田融さん(NPO法人さっぽろ自由学校「遊」)

講師&コメンテーター

・樽見弘紀さん(北海学園大学教授)

ゲスト

・草野竹史さん(環境NGO ezorock)

・松井久美枝さん(NPO法人夢の樹さっぽろ)

・山上千尋さん(NPO法人エスニコ)

講座1日目の午前中は、まず受講生同士がお互いを知り合うためのアイスブレイクと自己紹介か



ら始まりました。これにより緊張が解きほぐされ会場の雰囲気は和みました。

その後、「わたしにとって市民活動とは？」を各自で考え、出てきたキーワードを全員で模造紙に整理しました。

午後からは、講師の樽見弘紀さんから「市民活動って、何ですか？」をテーマに、「組織」や「NPO(民間でかつ非営利性があること)」について、わかりやすく説明を受け、NPOの現状や最新の情報などを具体的に学びました。その後「実際に市民活動している人と話をしてみよう！」という内容で、3名(団体)の市民活動実践者(以下「ゲスト」)から団体の設立経緯や活動内容を聞きました。その後、3グループに分かれ、活動の背景や大切にしていることなどについて直接ゲストにインタビューし、その結果を模造紙に整理しました。

コメンテーターやゲストの皆さんから、それぞれ良くまとまっているという評価を受けました。



特集：「市民活動団体スタッフ養成講座」から学ぼう！

講座2日目 11月4日(土)

講義内容：「思いや夢を形にしよう！」

講師

・小泉雅弘さん(NPO法人さっぽろ自由学校「遊」)

講座2日目は「思い」や「夢」を分かち合いながら、それらを具体的な「活動」へと結びつけ、仲間とともに「NPOを



立ち上げる」という想定で、団体の社会的使命(ミッション)や活動内容を考えました。最終的な今日の目標は、設立趣意書を書くということでした。

午前は「これまでの自分を振り返ってみる(自分にとってのテーマを考える)」。それと絡めて、社会の現状がどうなっているかも併せて考えることを行いました。昨日は、実際にNPOで活躍しているゲストの活動への動機や経緯になどについて聞きましたが、今日は「自分自身の過去を振り返って活動の動機付け等を再確認する」ものでした。

午後は、取り組んでみたいテーマごとにグループに分かれ、そのテーマに対し、

社会の現状分析(マーケティング分析)、切実な課題や社会的ニーズについて

グループの活動目的「 年後に、どこの誰が のようになっているようにしたい」

目的達成のために必要な取り組み

について話し合い、模造紙に書いて(課題解決の木)発表しました。

グループ内では「個々の意見が違った」「收拾がつかなくなった」等の声がありましたが、活動の方向性を確認しあうなど、多くの人に関わって組織運営をしていくNPOにとって、非常に重要な



「合意形成」や「プレゼンテーション」のトレーニングの要素も含んだ講座でした。

講座3日目 11月5日(日)

講義内容：「活動の社会的役割を考えよう！」

講師：東田秀美さん(NPO法人旧小熊邸倶楽部)

講座3日目の午前中は、「誰のための活動?社会の現状はどうなっている?」という内容で、NPO法の生まれた背景や北海道NPOの現状、またNPOとNPO法人の違いやメリッとデメリットなどの講義から始まりました。

漠然と分かっているつもりになっている「NPO運営の特徴やポイント」を客観的に説明されることで、「やりたいからやる!という自己満足ではダメ」なのだということや「自分たちの社会的役割と運営方法」について、改めて考える場となりました。

午後からは、「活動に必要な資源をどうする?」という内容で、実際にNPO法人として事業を行っている立場から、講師の今までの経験を活かした内容の講義が始まりました。「資源の調達方法」として、人材(中心メンバーや正会員など)・技能(マネジメントや経理など)・物品(車やモノなど)・空間(活動場所やPR場所)・お金(会費や寄付金や委託事業など)についての、具体的な調達方法や考えるべきポイント、今まで経験したトラブルとその解決方法など、次々と事例を交えて話されました。受講生からも「こういう現実的な話が知りたかった!」という感想と共に、実際の活動に関わる質問も飛び交い、会場内は真剣そのものでした。



特集：「市民活動団体スタッフ養成講座」から学ぼう！

講座4日目 11月18日(土)

講義内容：「自分で調べる技術を身につけよう！」

講師：宮内泰介さん（北海道大学助教授）

講座4日目は「自分で調べる技術を身につけよう！」をテーマに、北海道大学助教授の宮内泰介さんから、市民調査の意義や手法、調査プランの作成、調査データのまとめ方等をグループワークも交えながら講義がありました。



市民活動団体が事業を展開する上で、「調べる」ことはとても大切な要素の一つです。地域のニーズを把握したり、

様々な活動事例やデータから学んだりすることで、より多くの情報を収集でき、新たな発見をすることもできます。また、何が求められているのかを的確に捉えるためにも、調べるための技術を得ることは必要なことです。

講座では、グループに分かれて市民調査に関する雑誌の記事を読み、その内容を把握した上で、なぜ市民活動が必要なのか等をお互いに発表しました。受講生からの意見には「自分たちの視点でまちを知ることができる」、「市民の意見を大切にすることができる」、「調査活動の中から出会いや様々なつながりが生まれる」等があり、単に市民調査に関する意義だけでなく、そこに気づきや発想の柔軟性、今後の活動の広がりや可能性等も感じ取ったのではないかと思います。



講座5日目 11月19日(日)

講義内容：「活動を広く知ってもらおう！」

ファシリテーター

・斎藤克恵さん（編集工房N O D E）

コメンテーター

・小林董信さん（NPO法人北海道NPOサポートセンター）

講座最終日の午前中は、「自分たちの活動を上手にPRするには？」という内容で、「広報」の必要性や広報プランについて講義がありました。「広報とはコミュニケーション」であるという考えから、実際にセンターに置いてあるNPOが作成したチラシを見比べて、良い・悪いと思う部分などの評価をみんなで発表しあいました。



午後からは、それぞれの広報プランを元に、個別の実技としてポスターやチラシを作成しました。作成しながら、もっと効果的に作るポイントなどの個別のアドバイスもあり、2時間ほどかけて全員が作品を仕上げました。その後、作成したチラシを元に「10秒のプレゼンテーション」を行いました。全員が終了した後、総評を小林さんから頂きましたが、単なるチラシの説明ではない「CMのように声と身体で行なうプレゼンテーション」に戸惑う受講生もあり、自分の活動を相手に効果的に伝える難しさを実感していました。

講義内容：「今後に向けて必要なことを話し合おう！」

講座の最後は、スタトレ講座の全5日間を振り返り、受講生とファシリテーター、コメンテーターに講座スタッフなども交えての意見交換会を行いました。

講座で知り得た内容への驚きや、それを踏まえての今後の活動を語りあったり、受講生の皆さんからは「講座スタッフと受講生同士が出会えたことへの感謝」の感想もありました。和気あいあいとした雰囲気の中、講座で学んだことを糧にして、明日からの活動に向けてそれぞれ頑張ろうとお互いが確認しあい、講座は終了しました。講師の皆さん、受講生の皆さん、本当にありがとうございました。



センターインフォメーション

当センターの研修コーナーで開催する事業のお知らせ

講座のご案内

参加者募集中

NPO法人設立講座

～NPO法人を設立するには？～

日時

平日コース：平成19年2月8日(木)14:00～16:00

夜間コース：平成19年3月7日(水)18:30～20:30

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：NPO法人の設立を考えている方など

内容：講師 中尾 肇さん

(北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課主査)

- ・NPOとは
- ・NPO法人になるには
- ・申請に必要な手続き
- ・書類作成の留意事項
- ・法人設立後の手続き
- ・NPOにまつわる最近の話題など

参加料：300円(資料代)

定員：30名(先着順)

市民活動基礎講座

～「市民活動」や「NPO」って何だろう～

日時：平成19年2月18日(日)13:30～16:30

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動に関心のある方、始めたい方など

内容：講師 東田 秀美さん

(NPO法人 旧小熊邸倶楽部理事長)

- ・市民活動の基礎
- ・市民活動の紹介と組織づくり
- ・市民活動組織の運営

参加料：300円(資料代)

定員：30名(先着順)

市民活動協働開催講座

「札幌市近郊共同作業所と交流～これからの作業所・そのあり方について」

日時：平成19年2月17日(土)13:00～16:00

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：共同作業所関係者及び関心のある方など

内容：事例発表及び意見交換

・「障害者自立支援法」

島村恒三さん(北海道手をつなぐ育成会共同作業所連絡協議会会長)

・「障害者自立支援法の選択」

坂本 武さん(NPO法人栗山町手をつなぐ育成会理事長)

・「職場環境と所員の指導」

岡本宏太さん(NPO法人栗山町手をつなぐ育成会指導員)

参加料：無料

定員：30名(先着順)

共催団体：NPO法人栗山町手をつなぐ育成会

「NPO決算書作成セミナー」

日時：平成19年3月20日(火)18:30～21:00

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：NPOの事務担当者など

内容：講師：瀧谷和隆さん

(税理士、NPO法人エーピーアイ・ジャパン理事長)

事業報告書等のサンプル紹介

間違いやすい項目とチェックポイントの説明

参加料：1,000円

定員：20名(先着順)

共催団体：NPO法人エーピーアイ・ジャパン

お申し込み・問い合わせは、当センターまで。

(開催日程や内容など変更になる場合がありますので、あらかじめご確認ください)

編集後記

今回の特集した「市民活動スタッフ養成講座」は、札幌(当センター)で開催し長期間(5日間)の講座でしたが受講者の中には道東からの参加もありパワーとやる気を感じました。

寒さが厳しい季節です。市民活動をされている皆さんも寒さに負けずがんばっていきましょう。(山)

市民活動スキルアップ講座

～ファシリテーション・グラフィック～

ファシリテーション・グラフィックは、会議を活性化させる板書術です。会議やワークショップなどで議論されている内容をホワイトボードや模造紙に書き出し、参加者の認識を一致させるために、発言を記録・図式化していく手法を学びませんか。

日時：全2日間

1日目：平成19年2月10日(土)10:00～17:30

2日目：平成19年2月11日(日)9:00～15:30

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動者・市民活動関係者など

内容：ファシリテーター

志賀壮史さん

青木将幸さん

- ・概論「ファシリテーション・グラフィックとは？」
- ・実習
- ・ふりかえり「現場にもちかえるために」

参加料：3,000円

定員：20名(先着順)

当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」「ボランティア募集の情報を知りたい」「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」「市民活動団体の運営についてアドバイスを受けたい」「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談に相談員・職員がお応えします。

直接来所、電話、FAX、メール、ホームページの「質問箱」で、お気軽にご相談下さい。

・TEL 011 261 4440

・FAX 011-251-6789

・E-mail center@do-shiminkatsudo.jp

・URL <http://www.do-shiminkatsudo.jp>